

平成29年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立太田小学校 校長名 田窪 佳寿子 作成日 平成29年 5月 8日

学校教育目標

創造的な知性と豊かな情操に根ざして、自他の人格を尊重し、正しく強く生きぬくたくましい人間の育成をめざす。

育てたい子ども像

深く考え、精いっぱい頑張る子ども

自他を大切にし、力を合わせてみんなのために働く子ども

健康で明るい子ども

開かれた学校

ゆたかな心

確かな学力

本年度の重点目標	開かれた学校		
	ゆたかな心	確かな学力	開かれた学校
○情報を積極的に発信し、保護者や地域との連携や信頼関係づくりに努める。 ○学校開放月間等を活用し、保護者や地域の方々に教育活動についての理解を深めていただく。 ○学校関係者評議員、学校評議員との連携を深め、よりよい学校運営に努める。	○児童と教職員、児童同士の人間関係づくり、仲間意識づくりに努める。 ○集会活動や体験的な活動の充実を図り、自尊感情を育てる。 ○道徳教育・環境教育・読書活動等の充実を図る。	○国語科を核として言語活動の向上に努める。 ○指導の工夫改善を行い、教員の授業力、児童の学力の向上に努め、どの子もわかる授業をめざす。 ○一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行う。 ○家庭学習の充実を図る。	○風の子活動（縦割り活動）を通して、人間関係や仲間意識、規範意識等の向上を図る。 ○児童中心のあいさつ運動を実施する。 ○会議には、「太田の子」の時間を設定し、児童理解を深め全職員で児童を育てるように努める。 ○朝の読書タイムやボランティアの読み聞かせ活動の充実を図る。 ○道徳の授業の充実を図り、道徳的実践力を育む。 ○チャイムとともに児童も職員もそうじを行う。
○学校便り、学年便り、保健便り等、各種通信やホームページ等で、積極的に学校の教育活動を地域や保護者に知らせる。 ○学校開放月間に、特色ある教育活動を計画し、保護者や、地域の方々に参観していく機会とする。 ○子どもの思いを大切にしながら地域に学習教材を求め、生活科・総合的な学習の時間等に取り入れるようにする。 ○気になる子どもの状況等について、きめ細かく家庭連絡を行う。	○児童中心のあいさつ運動を実施する。 ○会議には、「太田の子」の時間を設定し、児童理解を深め全職員で児童を育てるように努める。 ○朝の読書タイムやボランティアの読み聞かせ活動の充実を図る。 ○道徳の授業の充実を図り、道徳的実践力を育む。 ○チャイムとともに児童も職員もそうじを行う。	○国語科学習の研究推進に取り組む。 ○国語科において物語文や説明文の系統表を作成する。また、指導・工夫の在り方を研究する。さらに、学年に応じたワークシートを活用して自分の考えを書き、根拠や理由をもとに「伝え合う活動」を大切にする。 ○「太田タイム」の充実を図り、基礎学力の向上を図る。 ○特別支援教育支援員や学生ボランティアを活用し、個のニーズに応じた支援を行う。 ○家庭学習の手引き等を利用し、家庭と連携しながら自主学習の充実を図る。	○風の子活動（縦割り活動）を通して、人間関係や仲間意識、規範意識等の向上を図る。 ○児童中心のあいさつ運動を実施する。 ○会議には、「太田の子」の時間を設定し、児童理解を深め全職員で児童を育てるように努める。 ○朝の読書タイムやボランティアの読み聞かせ活動の充実を図る。 ○道徳の授業の充実を図り、道徳的実践力を育む。 ○チャイムとともに児童も職員もそうじを行う。